



「安全週間特集」
AEDの正しい使い方を覚えよう
株式会社 村上開明堂

AED と赤い文字で書かれたボックスを、ご覧になったことはありませんか？ AED は (Automated External Defibrillator : 自動体外式除細動器) の略で、必要に応じて電気ショックを与えて心臓の働きを取り戻させる装置です。

人が突然倒れる原因は、心筋梗塞が多いようですが、健康な人でも事故で重症を負って、危険な状態に陥ることがあります。駅や大型店舗など人が多く集まる場所はもちろん、一般企業でも AED を置くところが増えています。

弊社では 2010 年から本社ビルをはじめ、各工場に合計 6 台の AED を設置しました。この AED は社内だけではなく、地域のみなさまにも使用していただけるよう告知をしており、「地域社会全体の備え」としての役割を担っております。

しかし、使い方を正しく理解していなければ、AED の力を発揮することができません。導入と同時に、社員向け操作教育を定期的に行い、これまでに 325 名が受講しています。

訓練とはいっても、機器を取り出し、自動音声がかびきびと指示を始めると、本番さながらの緊張が走ります。自分の体重をかけて行う心臓マッサージは、かなりの力を必要とするので、女性にはやや大変なようですが、本番を想定して黙々と訓練をこなしてくれています。

これからも、いざという時に誰でも AED 操作ができる環境を整えていきたいと思えます。

